

ビジネスゲーム M-Cass プレゼンツ

税理士・公認会計士・簿記検定1級試験向け
簿記出題パターンマスター問題集

一般商品売買&有価証券編



著作権はビジネスゲーム M-Cass にあります。

<はじめに>

1、当問題集の趣旨について

「一生懸命勉強しているが、なかなか本試験に太刀打ちできるようにならない・・・」
これは、日商簿記検定や公認会計士・税理士試験の受験生からよく受ける相談です。

このようなお悩みを持つ方に、私は次のような質問をします。

「問題を解くたびに、問題の数だけ出題パターンがあるように感じられませんか？」。
「たくさん問題を解いているのに、次の問題を解くと、やっぱり知らない問題ができませんか？」。「どれだけ解けば、知らない問題がなくなるのだろう・・・と、途方に暮れることはありませんか？」。

心当たりのある方は、問題集を中心とする学習を実践しており、何も考えずに、とにかく問題集を解いて、答え合わせをして、さらに問題を解く、という学習を繰り返しているだけではないでしょうか。そうだとすれば、そのやり方にこそ、原因があります。

このような量の学習では、知らない問題がなくなるまで問題を解くハメになります。ある程度の量の勉強は当然に必要ですが、量の勉強だけでは、簿記検定試験や国家試験に短期で合格することはできません。

簿記検定試験や国家試験に短期で合格を果たすためには、簿記の問題がどのような作りになっているのか、ということを知らなければなりません。このことを知ることで、簿記の問題の出題パターンはあまり多くないこと、様々な問題の出題パターンには、結局はテキストに載っている基本仕訳をおさえれば足りることが分かります。

当問題集は、簿記の問題がどのような構造になっているのか、その出題パターンにはどのようなものがあるのか、ということを理解していただき、最終的には基本仕訳をおさえることで、様々な出題パターンに対応できるというに気づいていただくことを主眼として作られています。

2、当問題集の利用方法について

当問題集では、毎回2つの代表的な論点について、月曜日から金曜日までの5日間分を2週分収録しています。問題は、まず基本仕訳をおさえいただく問題、次に各出題パターンを理解し、慣れていただく問題、という構成になっています。よって、具体的な利用方法としては、今回出題している「商品売買」と「有価証券」の論点について、1週目は、月曜日～金曜日までの問題をそれぞれ通して解くようにして下さい。2週目に関しては、「商品売買」→「商品売買」と続けていただいても構いませんし、「有価証券」の問題を解いても構いません。

それでは、電卓と計算用紙と時計を用意していただき、チャレンジしてみてください！

著作権はビジネスゲーム M-Cass にあります。

◆商品売買取引（簿記一巡型の問題1） 解答時間：初学者 15分 経験者 10分

問題（月曜日）

下記資料の取引を処理し、期末における決算整理前残高試算表を作成しなさい。

<資料1>

繰越試算表（一部）

単位：千円

| | |
|------|-----|
| 繰越商品 | 600 |
|------|-----|

<資料2>

4月2日：A商品を1,000千円（購入数量10個、購入単価100千円）仕入れ、代金は掛けとした。なお、当社では三分法で処理している。

5月2日：A商品8個を得意先A社に単価150千円で売却し、代金は掛けとした。なお、当社では、払出単価の決定方法について先入先出法を採用している。

6月2日：A社に対する売掛金のうち、400千円を現金で回収した。

<参考資料>

| 先入先出法 | | 商品有高帳 | | | | | | A商品 | | | |
|-------|----|-------|----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|
| 日付 | 摘要 | 受入 | | | 払出 | | | 残高 | | | |
| | | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 | |
| 4 | 1 | 前月繰越 | 5 | 120 | 600 | | | | 5 | 120 | 600 |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

※商品有高帳は解答にあたり利用すること。なお、帳簿を閉め切る必要はない。

解答欄

決算整理前残高試算表（一部）

単位：千円

| | | | |
|------|-----|-----|-----|
| 繰越商品 | () | 買掛金 | () |
| 売掛金 | () | 売上 | () |
| 仕入 | () | | |

【解 答】

決算整理前残高試算表（一部）

単位：千円

| | | | | | |
|------|---|--------|-----|---|--------|
| 繰越商品 | (| 600) | 買掛金 | (| 1,000) |
| 売掛金 | (| 800) | 売 上 | (| 1,200) |
| 仕 入 | (| 1,000) | | | |

【解 説】

簿記の上達のコツは、仕訳力と集計力を身につけることです。本問において、取引の仕訳とT勘定を使うことによる金額の集計をまずは練習して下さい。

<取引の仕訳>

| | | | | | | |
|-----|------|------|-------|------|-----|-------|
| 4/2 | 〔借方〕 | 仕 入 | 1,000 | 〔貸方〕 | 買掛金 | 1,000 |
| 5/2 | 〔借方〕 | 売掛金 | 1,200 | 〔貸方〕 | 売 上 | 1,200 |
| 6/2 | 〔借方〕 | 現金預金 | 400 | 〔貸方〕 | 売掛金 | 400 |

<上記取引のT勘定による金額の集計>

| 繰越商品 | | | 売掛金 | | |
|------|------|-------|------|------|-------|
| 4/1 | 前期繰越 | 600 | 5/2 | 売 上 | 1,200 |
| | | | 6/2 | 現金預金 | 400 |
| 仕 入 | | | 買掛金 | | |
| 4/2 | 買掛金 | 1,000 | 3/10 | 売 上 | 800 |
| | | | 4/1 | 仕 入 | 1,000 |
| | | | 売 上 | | |
| | | | 5/2 | 売掛金 | 1,200 |

<商品有高帳への記帳>

| 先入先出法 | | 商 品 有 高 帳 | | | | | | A商品 | | | |
|-------|---|-----------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 日 | 付 | 摘 要 | 受 入 | | | 払 出 | | | 残 高 | | |
| | | | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 |
| 4 | 1 | 前月繰越 | 5 | 120 | 600 | | | | 5 | 120 | 600 |
| | 2 | 仕 入 | 10 | 100 | 1,000 | | | | 5 | 120 | 600 |
| | | | | | | | | | 10 | 100 | 1,000 |
| 5 | 2 | 売 上 | | | | 5 | 120 | 600 | | | |
| | | | | | | 3 | 100 | 300 | 7 | 100 | 700 |

☆アドバイス☆簿記における記帳の流れをまずはおさえましょう。

記帳の流れ：取引を仕訳→仕訳帳に記帳→総勘定元帳に転記→補助簿に記帳

◆商品売買取引（簿記一巡型の問題2） 目標時間：初学者 15分 経験者 10分

問題（火曜日）

下記資料に基づき決算整理を行い、決算整理後残高試算表を作成しなさい。
 なお、決算日は3月31日とする。

<資料1>決算整理前残高試算表

| 決算整理前残高試算表（一部） | | 単位：千円 | |
|----------------|-------|-------|-------|
| 繰越商品 | 600 | 買掛金 | 1,000 |
| 売掛金 | 800 | 売上 | 1,200 |
| 仕入 | 1,000 | | |

<資料2>決算整理事項

1、期末商品は以下のとおりであった。

期末商品帳簿数量 7個 原 価：@100千円

期末商品実地数量 6個 正味売却価額：@98千円

2、売上債権について

売掛金は一般債権に分類され、貸倒実績率法に基づいて貸倒引当金を設定する。
 貸倒実績率は3%とする。

解答欄

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 | |
|-----------------|--|---------------|--|
| 繰越商品（ ） | | 買掛金（ ） | |
| 売掛金（ ） | | 貸倒引当金（ ） | |
| 仕入（ ） | | 売上（ ） | |
| 棚卸減耗損（ ） | | | |
| 商品評価損（ ） | | | |
| 貸倒引当金繰入（ ） | | | |

【解 答】

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 | |
|----------------|---------|-------|----------|
| 繰越商品 | (588) | 買掛金 | (1,000) |
| 売掛金 | (800) | 貸倒引当金 | (24) |
| 仕入 | (900) | 売上 | (1,200) |
| 棚卸減耗損 | (100) | | |
| 商品評価損 | (12) | | |
| 貸倒引当金繰入 | (24) | | |

【解 説】

前回の月曜日では、期中の仕訳を中心に、決算整理前残高試算表を作りました。試算表を作成し、貸借が一致することを確認した後に、決算整理に入ります。今回は、この決算整理仕訳を中心に、決算整理後残高試算表の作成が問われています。

<決算整理仕訳>

1、売上原価の算定

3/31 [借方] 仕入 600 [貸方] 繰越商品 600
[借方] 繰越商品 700 [貸方] 仕入 700

2、期末商品の評価

3/31 [借方] 棚卸減耗損 100 [貸方] 繰越商品 100
[借方] 商品評価損 12 [貸方] 繰越商品 12

棚卸減耗損：(帳簿数量 7 個－実地数量 6 個) × 原価@100 = 100

商品評価損：(原価@100－正味売却価額@98) × 実地数量 6 個 = 12

3、貸倒引当金の設定

3/31 [借方] 貸倒引当金繰入 24 [貸方] 貸倒引当金 24

貸倒引当金繰入額：売掛金期末残高 800 × 貸倒実績率 3% = 24

☆アドバイス☆仕訳力と集計力を練習しましょう。

簿記の問題の解き方は、「①問題文を読む→②仕訳をきる→③金額を集計する」という流れになります。よって、取引の仕訳をしっかりと理解し、記憶するとともに、金額の集計方法についても、練習するようにしましょう。金額の集計方法の基本は、「T勘定を使って集計する方法」です。この方法は、「勘定分析」ができるようになるための土台となるものです。よって、簿記の学習においては、必ず、仕訳→T勘定へ転記という作業を行うようにしましょう。

◆商品売買取引（簿記一巡型の問題3） 目標時間：初学者 10分 経験者 8分

問題（水曜日）

下記の決算整理後残高試算表をもとに、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

<資料>決算整理後残高試算表

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-----|-------|
| 繰越商品 | 588 | 買掛金 |
| 売掛金 | 800 | 貸倒引当金 |
| 仕入 | 900 | 売上 |
| 棚卸減耗損 | 100 | |
| 商品評価損 | 12 | |
| 貸倒引当金繰入 | 24 | |

解答欄

| 損益計算書（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-----------|-------|
| I 売上高 | () | () |
| II 売上原価 | | |
| 1. 期首商品棚卸高 | (600) | |
| 2. 当期商品仕入高 | (1,000) | |
| 計 | () | |
| 3. 期末商品棚卸高 | () | |
| 差引 | () | |
| 4. () | () | |
| 5. () | () | () |
| 売上総利益 | () | () |
| III 販売費及び一般管理費 | | |
| 1. () | () | |

| 貸借対照表（一部） | | 単位：千円 |
|---------------|---------|-------|
| I 流動資産 | I 流動負債 | |
| 売掛金 () | 買掛金 () | |
| 貸倒引当金 (△) () | | |
| 商品 () | | |

【解 答】

| 損益計算書（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-----------|-----------|
| I 売 上 高 | | (1,200) |
| II 売 上 原 価 | | |
| 1. 期首商品棚卸高 | (600) | |
| 2. 当期商品仕入高 | (1,000) | |
| 計 | (1,600) | |
| 3. 期末商品棚卸高 | (700) | |
| 差引 | (900) | |
| 4. (棚 卸 減 耗 損) | (100) | |
| 5. (商 品 評 価 損) | (12) | (1,012) |
| 売上総利益 | | (188) |
| III 販売費及び一般管理費 | | |
| 1. (貸倒引当金繰入) | (24) | |

| 貸借対照表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------------|----------------|-------|
| I 流動資産 | I 流動負債 | |
| 売 掛 金 (800) | 買 掛 金 (1,000) | |
| 貸倒引当金 (△24) (776) | | |
| 商 品 (588) | | |

【解 説】

前々回から今回にかけて、期首から期末までの簿記一巡の流れを確認しました。簿記の総合問題では、期首から期中、そして期末までのすべての処理が問われる「簿記一巡型の問題」（月曜日～水曜日までの問題）と、決算整理前残高試算表をスタートとし、主に決算整理を問う「前 T/B スタートの決算整理型の問題」（火曜日～水曜日までの問題）の2つがおもに出題されます。

なお、本問は財務諸表の作成が問われていますが、簿記では仕訳と併せて、「その勘定科目が財務諸表にどのように表示されるのか」ということについてもおさえるようにしましょう。

☆アドバイス☆期首から期末までの簿記一巡の手続きをおさえましょう。

次回からは、簿記の出題パターンについてみていきます。

◆商品売買取引（指示・未処理・誤処理問題） 解答時間：初学者 20 分 経験者 15 分

問題（木曜日）

下記資料に基づき決算整理を行い、決算整理後残高試算表を作成しなさい。
 なお、決算日 3 月 3 1 日とする。

<資料 1> 決算整理前残高試算表

| 決算整理前残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-----|---------|
| 繰越商品 | 600 | 売 上 800 |
| 売掛金 | 400 | |

<資料 2> 修正事項

- 1、期中における仕入取引につき、A 商品 1,000 千円（10 個 @100 千円）を掛けで仕入れていたが、未処理であった。
- 2、期中における売上取引につき、A 商品を 1,200 千円で掛売上げたが、誤って 800 千円と記帳していた。

<資料 3> 決算整理事項

- 3、期末商品は以下のとおりであった（資料 2 は加味されている）。

期末商品帳簿数量 7 個 原 価：@100 千円

期末商品実地数量 6 個 正味売却価額：@98 千円

- 4、売上債権について

売上債権の期末残高に対して 3% の貸倒引当金を設定する。

解答欄

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-----------|-------|
| 繰越商品 () | 買掛金 () | |
| 売掛金 () | 貸倒引当金 () | |
| 仕入 () | 売上 () | |
| 棚卸減耗損 () | | |
| 商品評価損 () | | |
| 貸倒引当金繰入 () | | |

【解 答】

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 | |
|----------------|---------|-------|----------|
| 繰越商品 | (588) | 買掛金 | (1,000) |
| 売掛金 | (800) | 貸倒引当金 | (24) |
| 仕入 | (900) | 売上 | (1,200) |
| 棚卸減耗損 | (100) | | |
| 商品評価損 | (12) | | |
| 貸倒引当金繰入 | (24) | | |

【解 説】

本問は、決算整理前残高試算表をスタートとする、決算整理型の問題です。決算整理前残高試算表をスタートとしますので、基本的には期首から期中における日常の取引の仕訳までは終わった状態ということになります。しかし、これでは決算整理仕訳しか問うことができず、期中の仕訳を問うことができません。そこで、簿記の試験では期中の処理を未処理や誤処理にすることで、決算整理仕訳以外にも期中の仕訳についても問う問題が出題されます。

<修正仕訳>

1、未処理事項の整理（資料2. 1）

3/31 〔借方〕 仕 入 1,000 〔貸方〕 買 掛 金 1,000

期中の仕入1,000千円の処理がされていないので、その仕訳をします。

2、誤処理事項の訂正（資料2. 2）

3/31 〔借方〕 売 掛 金 400 〔貸方〕 売 上 400

期中の掛売上げについて、400千円足りませんので、400千円の追加仕訳をします。

<決算整理仕訳>上記の修正が終わったら、心置きなく決算整理に入ります。

売上原価の算定・期末商品の評価・貸倒引当金の設定

→火曜日（簿記一巡型の問題2）の解答を参照して下さい。

☆アドバイス☆簿記の出題パターンに慣れましょう。

簿記の問題は、いくつかの出題パターンが組み合わされて出題されます。このため、点数を取れるようになるためには、取引の期首から期末までの一連の基本仕訳をおさえたい。例えば、簿記の出題パターンを練習し、慣れることが大切です。出題パターンの代表例としては、①貸倒引当金を設定しなさい等の指示に従って処理する指示型の問題、②期中の処理を未処理にする未処理型の問題、③期中の処理を誤処理にする誤処理型の問題、④金額などを推定させる指定型の問題などがあります。

◆商品売買取引（推定問題） 解答時間：初学者 20 分 経験者 18 分

問題（金曜日）

下記資料に基づき決算整理を行い、貸借対照表を作成しなさい。（決算日 3 月 31 日）

<資料 1> 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表（一部） 単位：千円

| | | | |
|------|-----|-----|-------|
| 繰越商品 | 600 | 買掛金 | 1,000 |
| 売掛金 | ? | 売上 | 1,200 |
| 仕入 | ? | | |

<資料 2> 商品有高帳

| 先入先出法 | | 商品有高帳 | | | | | | A商品 | | | |
|-------|----|-------|----|-----|-------|----|----|-----|----|-----|-------|
| 日付 | 摘要 | 受入 | | | 払出 | | | 残高 | | | |
| | | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 | |
| 4 | 1 | 前月繰越 | 5 | 120 | 600 | | | | 5 | 120 | 600 |
| | 2 | 仕入 | 10 | 100 | 1,000 | | | | 5 | 120 | 600 |
| | | | | | | | | | 10 | 100 | 1,000 |
| 5 | 2 | 売上 | | | | 5 | ? | ? | | | |
| | | | | | | 3 | ? | ? | ? | ? | ? |

<資料 3> 決算整理事項

1、期末商品は以下のとおりであった。

期末商品帳簿数量？個 原 価：@？千円

期末商品実地数量 6 個 正味売却価額：@98 千円

2、売上債権について（売上はすべて掛けとする）

売掛金については前期からの繰越額はなく、また、期中において 400 千円を回収している。売上債権の期末残高に対して 3%の貸倒引当金を設定する。

解答欄

貸借対照表（一部）

単位：千円

| | | | | | |
|--------|------|-----|--------|-----|--|
| I 流動資産 | | | I 流動負債 | | |
| 売掛金 | () | | 買掛金 | () | |
| 貸倒引当金 | (△) | () | | | |
| 商 品 | | () | | | |

【解 答】

貸借対照表（一部）

単位：千円

| | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|----------|--|
| I 流動資産 | | | I 流動負債 | | |
| 売 掛 金 | (800) | | 買 掛 金 | (1,000) | |
| 貸倒引当金 | (△24) | (776) | | | |
| 商 品 | | (588) | | | |

【解 説】

簿記の出題パターンの続きとして、今回は④推定のパターンを確認します。

1、商品有高帳の推定

| 先入先出法 | | 商 品 有 高 帳 | | | | | | A商品 | | | |
|-------|---|-----------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日 | 付 | 摘 要 | 受 入 | | | 払 出 | | | 残 高 | | |
| | | | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 | 数量 | 単価 | 金額 |
| 5 | 2 | 売 上 | | | | 5 | 120 | 600 | | | |
| | | | | | | 3 | 100 | 300 | 7 | 100 | 700 |

以上により、期末帳簿数量は7個、原価は100千円ということが分かります。

2、売掛金の期末残高の算定（勘定分析）

売掛金

| | |
|----------|--------|
| 期首 0 | 回収 400 |
| 売上 1,200 | 期末 800 |

決算整理前残高試算表の売掛金の金額が推定になっています。このため、売掛金のT勘定のBOXを書いて、貸借差額により計算します。これを勘定分析といいます。

3、決算整理仕訳

売上原価の算定・期末商品の評価・貸倒引当金の設定

→火曜日（簿記一巡型の問題2）の解答を参照して下さい。

☆アドバイス☆勘定分析をマスターしましょう。

今回の問題では、まず、期末商品について、期末商品帳簿棚卸高は補助簿である商品有高帳から知ることができるということを理解していたかがポイントとなります。また、売掛金の残高について、売掛金のT勘定のBOXを書いて、貸借差額により算定できたかがポイントとなります。このT勘定のBOXは、仕訳を転記する総勘定元帳の部分です。勘定分析をマスターするために、日頃の学習において、「仕訳→T勘定へ転記し金額を集計」という練習をやるようにして下さい。

◆有価証券（簿記一巡型の問題）解答時間：初学者 10 分 経験者 8 分

問題（月曜日）

下記資料の取引を処理し、期末における決算整理前残高試算表を作成しなさい。

<資料>

4月2日：甲社株式@100千円を100株購入し、代金は手数料2,000千円とともに現金で支払った。

4月3日：丙社社債（額面10,000千円）を額面100千円あたり95千円で購入し、代金は現金で支払った。

8月9日：保有する甲社株式40株を1株あたり150千円で売却し、代金は現金で受け取った。

3月31日：丙社社債の利払い日が到来し、1年分（月割り）の利息を現金で受け取った。なお、利子率は1.2%である。

解答欄

決算整理後残高試算表（一部）

単位：千円

| | | | |
|-----------|-----|---------|-----|
| 有価証券 | () | 有価証券売却益 | () |
| 満期保有目的の債券 | () | 有価証券利息 | () |

【解答】

決算整理前残高試算表（一部）

単位：千円

| | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 有価証券 | (7,200) | 有価証券売却益 | (1,200) |
| 満期保有目的の債券 | (9,500) | 有価証券利息 | (120) |

【解説】

本問では、有価証券に関して、①有価証券の購入、②売却、③利息の受取り、という期中の処理が問われています。簿記の問題は「①問題文を読む→②仕訳をきる→③金額を集計する→④集計した金額を解答欄に記入する」という流れで基本的に解くことになります。そのため、簿記の問題が解けるかどうかは、仕訳がきれるかどうかに関わりません。よって、基本テキストで、各取引の一連の仕訳をまずはおさえるようにしましょう。

<取引の仕訳>

| | | | | | | |
|------|------|-----------|--------|------|---------|--------|
| 4/2 | 〔借方〕 | 有価証券 | 12,000 | 〔貸方〕 | 現金預金 | 12,000 |
| 4/3 | 〔借方〕 | 満期保有目的の債券 | 9,500 | 〔貸方〕 | 現金預金 | 9,500 |
| 8/9 | 〔借方〕 | 現金預金 | 6,000 | 〔貸方〕 | 有価証券 | 4,800 |
| | | | | | 有価証券売却益 | 1,200 |
| 3/31 | 〔借方〕 | 現金預金 | 120 | 〔貸方〕 | 有価証券利息 | 120 |

<上記取引のT勘定による金額の集計>相手勘定は省略

| 有価証券 | | 満期保有目的の債券 | |
|------|---------|-----------|--------|
| 4/1 | 12,000 | 8/9 | 4,800 |
| | | 4/3 | 9,500 |
| | 有価証券売却益 | | 有価証券利息 |
| | 8/9 | 3/31 | 120 |
| | 1,200 | | |

☆アドバイス☆復習するときは、白紙に仕訳をすべて書いてみましょう。

簿記の問題を復習するときは、白紙を用意し、一度、問題の仕訳をすべて書いてみましょう。簿記を苦手にする方は、仕訳力がついていないことが大きな原因です。よって、すべての仕訳を白紙にきってみて、理解不足の仕訳がないかどうかを1つ1つ確かめるようにしましょう。そして、できなかった仕訳があれば、必ず基本テキストにまで戻り、仕訳をしっかりと確認するようにしましょう。なお、忘れやすい仕訳や不安のある仕訳は、ノートなどに取引と仕訳、そのポイントなどを書き出し、復習しやすいツールを作っておくのも1つの手です。参考にされて下さい。

◆有価証券（簿記一巡型の問題2） 目標時間：初学者 10分 経験者 8分

問題（火曜日）

下記資料に基づき決算整理を行い、決算整理後残高試算表を作成しなさい。
 なお、決算日は3月31日とする。

<資料1>決算整理前残高試算表

| 決算整理前残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-------|---------|
| 有価証券 | 7,200 | 有価証券売却益 |
| 満期保有目的の債券 | 9,500 | 有価証券利息 |
| | | 1,200 |
| | | 120 |

<資料2>決算整理事項

決算日現在に保有する有価証券等の内訳は以下の通りである。

| 銘柄 | 保有目的 | 取得原価 | 時価 | 備考 |
|------|--------|----------|----------|---|
| 甲社株式 | 売買目的 | 7,200 千円 | 8,000 千円 | |
| 丙社社債 | 満期保有目的 | 9,500 千円 | 9,600 千円 | 当期首に取得したものであり、額面 10,000 千円、償却原価法（定額法）により処理する。なお、償還期間は 5 年である。 |

解答欄

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|----------------|----------------|
| 有価証券 | （ ） | 有価証券利息 |
| 満期保有目的の債券 | （ ） | 有価証券売却益 |
| | | 有価証券評価益 |
| | | （ ） |

【解 答】

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 | |
|----------------|----------|---------|----------|
| 有 価 証 券 | （ 8,000） | 有価証券利息 | （ 220） |
| 満期保有目的の債券 | （ 9,600） | 有価証券売却益 | （ 1,200） |
| | | 有価証券評価益 | （ 800） |

【解 説】

本問では、期末における決算整理仕訳が問われています。期中における処理が終わった総勘定元帳の勘定科目の中には、期末における実際有高や適正な価値を表していないものの他、一会計期間における正しい発生額を表していないものが存在します。よって、そのままでは貸借対照表や損益計算書に載せることができませんので、決算整理仕訳によって、適正な金額を示すように修正が行われます。

<決算整理仕訳>

1、甲社株式（売買目的有価証券の評価替え）

3/31 〔借方〕 有 価 証 券 800 〔貸方〕 有価証券評価益 800
時価 8,000-取得原価 7,200=800

2、丙社株式（満期保有目的の債券の償却原価法）

3/31 〔借方〕 満期保有目的の債券 100 〔貸方〕 有価証券利息 100
(額面 10,000-取得原価 9,500) ÷ 償還期間 5 年=100

<上記取引のT勘定による金額の集計>相手勘定は省略

| 有 価 証 券 | | 満期保有目的の債券 | |
|---------------|-----------|---------------|----------|
| T/B | 7,200 | T/B | 9,500 |
| 3/1 | 800 | 3/31 | 100 |
| 有 価 証 券 売 却 益 | | 有 価 証 券 利 息 | |
| | T/B 1,200 | | T/B 120 |
| | | | 3/31 100 |
| | | 有 価 証 券 評 価 益 | |
| | | | 3/31 800 |

☆アドバイス☆各取引の期首から期末までの一連の仕訳をおさえましょう。
本問の決算整理仕訳までが、売買目的有価証券や満期保有目的の債券に関する一連の仕訳となります。まずは、基本テキストに載っているこれらの一連の仕訳をおさえるところから始めるようにしましょう。

◆有価証券（簿記一巡型の問題3） 目標時間：初学者6分 経験者5分

問題（水曜日）

下記の決算整理後残高試算表をもとに、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。
なお、すべての空欄が埋まるとは限らない。

<資料>決算整理後残高試算表（決算日×2年3月31日）

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-------|---------|
| 有価証券 | 8,000 | 有価証券利息 |
| 満期保有目的の債券 | 9,600 | 220 |
| | | 有価証券売却益 |
| | | 1,200 |
| | | 有価証券評価益 |
| | | 800 |

注：有価証券は売買目的有価証券である。また、満期保有目的の債券は、当期首に取得したものであり、満期日は×6年3月31日である。

解答欄

| 損益計算書（一部） | | 単位：千円 |
|-----------|-----|-------|
| IV営業外収益 | | |
| 1. () | () | |
| 2. () | () | |
| 3. () | () | () |
| V営業外費用 | | |
| 1. () | () | |
| VI特別利益 | | |
| 1. () | () | |

| 貸借対照表（一部） | | 単位：千円 |
|-----------|-----|--------|
| I 流動資産 | | I 流動負債 |
| () | () | |
| II 固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| () | () | |

【解 答】

| 損益計算書 (一部) | | 単位：千円 |
|----------------|----------|-----------|
| IV 営業外収益 | | |
| 1. (有価証券利息) | (220) | |
| 2. (有価証券売却益) | (1,200) | |
| 3. (有価証券評価益) | (800) | (2,220) |
| V 営業外費用 | | |
| 1. () | () | |
| VI 特別利益 | | |
| 1. () | () | |

| 貸借対照表 (一部) | | 単位：千円 |
|----------------------|--------|-------|
| I 流動資産 | I 流動負債 | |
| (有 価 証 券) (8,000) | | |
| II 固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| (投資有価証券) (9,600) | | |

【解 説】

今回までの問題によって、有価証券に関する処理を一通り確認したことになります。なお、仕訳をおさえる際は、仕訳の勘定科目が損益計算書や貸借対照表にどのように記載されるのか、ということも併せておさえるようにしましょう。売買目的有価証券については、短期保有を目的としますので、貸借対照表の流動資産に有価証券などの名称で記載されます。これに対し、満期保有目的の債券については、当期末から満期日まで1年以上ありますので、固定資産の投資その他の資産に、投資有価証券などの名称で記載されます。

☆アドバイス☆仕訳をおさえるときは3つの観点からおさえましょう。

仕訳をおさえるときは、①その勘定科目が、資産・負債・純資産・収益・費用の5つの勘定のどれに分類されるのか（認識）、②仕訳の金額はどのように計算されるのか（測定）、③財務諸表にどのように記載されるのか（表示）という3つの観点でおさえるようにしましょう。勘定科目は、無数に存在しますが結局5つの勘定のどれかに分類されます。よって、勘定科目と勘定をおさえることが重要です。

◆有価証券（（指示・未処理・誤処理問題）） 目標時間：初学者 10 分 経験者 8 分

問題（木曜日）

下記資料に基づき決算整理を行い、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

なお、決算日は×2年3月31日とする。

<資料1>決算整理前残高試算表

| 決算整理前残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|--------|-------|
| 有 価 証 券 | 12,000 | 仮 受 金 |
| 満期保有目的の債券 | 9,500 | 6,000 |

<資料2>修正事項

1、有価証券について

有価証券は、当期4月2日に取得した甲社株式である。なお、期中において甲社株式4,800千円を6,000千円で売却したが、仮受金として処理したのみである。

2、満期保有目的の債券について

満期保有目的の債券は、当期4月3日に取得した丙社社債である。なお、利払日が到来し120千円の利息を受け取っていたが未処理であった。

<資料3>決算整理事項

当社が保有する有価証券等の内訳は以下のとおり。

| 銘柄 | 保有目的 | 取得原価 | 当期末時価 |
|------|--------|---------|---------|
| 甲社株式 | 売買目的 | ？千円 | 8,000千円 |
| 丙社社債 | 満期保有目的 | 9,500千円 | 9,600千円 |

（注）丙社社債（額面金額10,000千円）の満期日は×6年3月31日であり、償却原価法（定額法）により処理している。

解答欄

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|--------------------------|--|------------------------------|
| 有 価 証 券 （ ） | | 有 価 証 券 利 息 （ ） |
| 満期保有目的の債券 （ ） | | 有 価 証 券 売 却 益 （ ） |
| | | 有 価 証 券 評 価 益 （ ） |

【解 答】

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 | |
|----------------|----------|---------|----------|
| 有 価 証 券 | （ 8,000） | 有価証券利息 | （ 220） |
| 満期保有目的の債券 | （ 9,600） | 有価証券売却益 | （ 1,200） |
| | | 有価証券評価益 | （ 800） |

【解 説】

本問は決算整理前残高試算表をスタートとする問題であるため、決算整理仕訳が問われますが、期中の処理が誤処理や未処理となっています。このため、まず、期中の誤処理や未処理を行い、その後に決算整理仕訳をします。

<修正仕訳>

1、誤処理事項の訂正（資料2. 1）

8/9 〔借方〕 仮 受 金 6,000 〔貸方〕 有 価 証 券 4,800
有価証券売却益 1,200

保有する甲社株式において、期中で売却しているにも係らず、仮受金として処理しているのみであるため、仮受金を取り消し、有価証券の売却の仕訳をおこないます。

この仕訳により、前 T/B の有価証券は 7,200 に修正されます。

2、未処理事項の訂正（資料2. 2）

3/31 〔借方〕 現 金 預 金 120 〔貸方〕 有 価 証 券 利 息 120

期末に利払日が到来し、丙社社債に関する利息を受け取っているものの、未処理となっているため、利息受取りの仕訳をおこないます。この仕訳により、新たに有価証券利息が計上されます。

<決算整理仕訳>上記の修正後に、決算整理をおこないます。

売買目的有価証券の時価評価・満期保有目的の債券の償却原価法の処理

→火曜日（簿記一巡型の問題2）の解答を参照して下さい。

☆アドバイス☆仕訳は忘れる都度、テキスト等で確認し、思い出す作業でおさえる。上級の試験になれば、覚えきれないほどの取引の仕訳がでてきます。そして、よく受講生の方から相談を受けるのが、「仕訳をすぐに忘れてしまう・・・」というものです。その日に覚えていた仕訳も、次の日に問題を解いてみると忘れてしまっていて解けない・・・これは誰もあることです。しかし、仕訳は忘れても構いません。その代り、忘れる度に、テキスト等で仕訳を確認し、思い出すという作業をやってほしいのです。忘れては思い出すという作業を繰り返すことで、いつのまにか記憶に残ります。

◆有価証券（(推定問題)） 目標時間：初学者 15 分 経験者 10 分

問題（金曜日）

下記資料に基づき決算整理を行い、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

なお、決算日は×2年3月31日とする。

<資料1>決算整理前残高試算表

| 決算整理前残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|-------|---------------|
| 有価証券 | ? | 有価証券売却益 1,200 |
| 満期保有目的の債券 | 9,500 | 有価証券利息 120 |

<資料2>決算整理事項

1、有価証券について

有価証券は、当期4月2日に12,000で取得した甲社株式である。なお、期中において、その一部を6,000千円で売却している。甲社株式は売買目的で保有しており、期末における時価は8,000千円である。

2、満期保有目的の債券について

満期保有目的の債券は、当期4月3日に取得した丙社社債（額面金額？千円）である（約定利率1.2%、利払日3月末、満期日×6年3月31日）。なお、償却原価法（定額法）で処理すること。

解答欄

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|-------------------------|--|-----------------------|
| 有価証券（ ） | | 有価証券利息（ ） |
| 満期保有目的の債券（ ） | | 有価証券売却益（ ） |
| | | 有価証券評価益（ ） |

【解答】

| 決算整理後残高試算表（一部） | | 単位：千円 |
|----------------|--------|-----------------|
| 有価証券（ | 8,000） | 有価証券利息（ 220） |
| 満期保有目的の債券（ | 9,600） | 有価証券売却益（ 1,200） |
| | | 有価証券評価益（ 800） |

【解説】

本問は前回と同様に、決算整理前残高試算表をスタートとする問題です。今回は、期中における有価証券の売却や、満期保有目的の債券の額面金額が推定となっています。

1、有価証券の期末残高の推定（勘定分析）

有価証券の期末帳簿残高が推定となっています。このため、購入時と売却時の仕訳を考えて勘定分析を行い、貸借差額により期末残高を算定します。

有価証券

| | |
|-----------|----------|
| 期首 0 | 売却 4,800 |
| 購入 12,000 | |
| | 期末 7,200 |

有価証券の売却の仕訳を考えていただくと、有価証券売却益 1,200 から、売却した有価証券の金額を算定できます。

〔借方〕現金預金 6,000 〔貸方〕有価証券 4,800

有価証券売却益 1,200

以上のように、有価証券の勘定分析を行うことで、貸借差額により期末残高 7,200 千円を計算することができます。この推定した金額と、期末時価 8,000 千円との比較により、時価への評価替えに関する決算整理仕訳を行います。決算整理仕訳については、火曜日（簿記一巡型の問題 2）の解答を参照して下さい。

2、満期保有目的債券の額面金額の推定

満期保有目的の債券について、償却原価法が適用されます。よって、そのための処理をしなければなりません。額面金額が推定となっています。このため、まず、額面金額を推定し、その後に償却原価法の仕訳をすることになります。

<額面金額の推定>

有価証券利息の計算式を思い出し、額面金額を X とおいて計算します。

額面金額 (X) × 約定利率 (1.2%) = 有価証券利息 (120 千円)

$X = 120 \text{ 千円} \div 1.2\%$ $X = 10,000 \text{ 千円}$

以上、額面金額が 10,000 千円と推定できましたので、取得原価 9,500 千円との差額により、当期の償却額を計算します。決算整理仕訳については、火曜日（簿記一巡型の問題 2）の解答を参照して下さい。

<おわりに>

1、当問題集でまず身につけていただきたいのは「学習の視点」

問題を解いた感想はいかがでしたでしょうか？

簡単過ぎると思われた方も結構いらっしゃることでしょう。ですが、当問題集では「問題を解く力をつけるための問題集」ではありません。その役割は、皆様がお持ちの問題集が担います。当問題集では、「学習の視点」を身につけていただくことを主眼としています。この「学習の視点」とは、まず第1に、基本仕訳をきっちりとおさえることが大切だということ、第2に、問題集を通して各出題パターンに慣れるということの2点です。そのことを理解していただくために、簿記の問題構造と出題パターンについて理解していただく作りとなっています。このことを知って簿記の学習をするのと、知らないで学習するのでは、合格点を取るという意味での学習効果に大きな差が出てくると思います。

ここで、上記のことについて、もう少し腑に落ちる形で理解していただくために、受験英語を例に、このことをお話ししようかと思います。

受験英語では、基本の英文法を学びます。例えば、テキストに「**This is a pen.**」と載っていたとします。この文章が、英文法の基本です。まずは、この文章を覚え、文法を理解することから英語の学習が始まります。そのうえで、受験英語に対応するため、問題集を通して訓練していきます。これがアウトプットの練習です。受験英語では、一般的には、①穴埋め問題、②英訳問題、③和訳問題、④リスニング問題、⑤疑問文に直す等の応用問題、といったパターンで出題されますよね。上記の基本文法が形を変えて様々なパターンで出題されるわけです。しかし、結局は基本の文法である「**This is a pen.**」をしっかりと理解し、覚えればいだけなのです。そのうえで、問題集を通して各出題パターンに「慣れて」いくということが必要になります。

簿記の問題もこれとまったく同じです。簿記の出題パターンには何種類かありますが、上記の英語と同様に、結局は基本の仕訳1つをおさえておけばいいということになります。このことを理解せずに、問題集ばかり解いていると、1つの仕訳を学習するのに、出題パターンから入ることになり、すべての出題パターンを通して、1つの基本仕訳をおさえるはめになります。このため、労力ばかりかかることになるわけです。

2、次回以降は「解き方」についても身につけていただきます

「学習の視点」は大事ですが、それだけで点数が取れるのであれば、苦労はないですよ。次回以降は、この出題パターンだけでなく、簿記の基本的な解き方や効率的な解き方についてもみていきます。どうぞお楽しみに。



M-Cass

*Management
Communication*

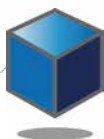
Accounting

Strategy

Study

ビジネスゲームで経営と会計に力を

仮会社を経営しながら学ぶから 経営判断力と財務会計力がUP



M-Cass 企業研修

会社が強くなる！画期的な社員研修

M-Cass 企業研修は、よくありがちな「研修のための研修」ではなく会社の経営力や財務会計力に直結する「会社を強くする研修」です。知識の詰め込みだけに終始する受動型の研修ではわかったつもりになりやすく知識もスキルも習得できないケースが多くみられます。弊社のM-Cass 企業研修では、ビジネス会計ゲームを中心に、ひとりひとりが経営者となって会社経営を体験しながら必要な知識とスキルを体で習得していく能動型の研修ですので、実務への効果出現が圧倒的に早く、会社全体が強くなっていくことをご実感いただける研修です。

M-Cass ビジネスゲーム

全員が経営者に！競って学ぶ効果的研修ツール

M-Cass 企業研修で利用するビジネスゲームは、弊社が独自に開発した「経営から会計そして分析まで体験的に学べる」企業研修に最適なツールです。ただ知識を学ぶだけでなく、実際に自分で会社を動かすことで、立ち止まりながら効率よく知識とスキルを身につけていくことができます。



著作権はビジネスゲーム M-Cass にあります。

画期的な 能動型研修 誕生！！



M-Cass 企業研修プログラム

成長を実感できる人材育成研修

- ✓ 全社員向け研修
- ✓ 新入社員向け研修
- ✓ 経理担当者向け研修
- ✓ 幹部・管理職向け研修

人口減少から優秀な人材が不足していくこれから、社内の人材育成は多くの企業において喫緊の課題と言えます。与えられた仕事を的確にこなすことはもちろん大切ですが、人材の不足が加速していく状況においては、経営判断力が高く、会社の数字が理解できる、総合力の高い人材の育成と確保が重要です。経営力・会計力・仕事力・コミュニケーション能力・チームビルディング力といった多くのビジネススキルを並行して取得できる M-Cass 企業研修をぜひご体感ください。

御社の人財育成と 生産性向上は *M-Cass* におまかせ



著作権はビジネスゲーム M-Cass にあります。

試験に確実に合格を果たしたい！という強い思いを持つ方へ

少人数限定ですが

簿記検定・税理士・公認会計士試験に短期合格するため

のメール相談をおこなっております！！

あなたの学習上の悩みをメールで相談してみませんか？



長年の指導実績を持つ最前線の現役の講師から特別なメールによる個別指導をうけませんか？

講師歴15年から20年、簿記検定講座、税理士講座、公認会計士講座を担当し、監査や税務、経理指導などの実務経験も豊富な実績を持つ講師陣が、あなたのためだけに、メールを使って学習相談にのります。

私自身、簿記検定や公認会計士試験、税理士試験向けの講座など、15年間簿記を教えてきましたが実は、公認会計士試験では非常に苦勞しました。お恥ずかしい話ですが、まず、簿記検定3級試験に不合格となってしまうのです。そのため、公認会計士試験では何度も不合格の通知に涙を飲んだ経験をしました。しかし、そのような経験は決して無駄ではありませんでした。なぜなら、「どうして同じ教材を使って合格者と不合格

著作権はビジネスゲーム M-Cass にあります。

者ができるのか？」という、受験予備校ではおおよそ取り上げられない、しかし、本源的な問題に気づいたからです。そのことに疑問を感じ、様々な文献と自らの講師経験から導き出した答えが「**そもそもの学習方法に根元がある**」ということを見出しました。そして、当メール相談により、そこで紡ぎ出した、合格するための学習方法などを全国の方々にお伝えしたいと思い、有志の先生方とメール相談をすることに致しました。

あなたは今の学習方法で試験に確実に合格できる自信はありますか？もしかすると、ダメかもしれないという不安はありませんか？

何度も問題を解いているのに、どうしても知識が忘却してしまう。

そんな経験はありませんか。果たして今のままで、本当に合格できますか？

ある日、当然、記憶力が増して全て覚えている、なんてことがあるでしょうか。もし、心当たりのある方であれば、いまこそ対策を立てる時かもしれません。

合格率 10%~15%の合格圏に入るために現在、全国 25 名の方々が受講しています。

簿記検定 1 級試験、税理士講・公認会計士試験の勉強において、多くの方が大手の専門学校に通っています。つまり、同じ教材で勉強しているわけです。

しかし、その中で他の受験生に差をつけて、合格率 10%前後の合格圏に入らなければいけません。そうすると、必然的にプラスアルファのなにかがあったほうが、10%前後の合格圏に入る可能性は高まりますね。

試験勉強の悩みは、「やり方=Doing」と「あり方=Being」の2つです。この2つについての的確なアドバイスをいたします。

合格できるかどうか・将来が不安。そんなことが脳裏をよぎることはないでしょうか？試験勉強では、勉強方法「やり方」に対する対処法と、メンタル面「あり方」に対する対処法の2つが必要です。この2つの側面に私どもはメールを使い、可能な限り、あなたは適切な対処をとれるようにアドバイスをしていきます。

実際にメール学習相談を受けた方の声をご紹介します。

税理士試験財務諸表論講座の受講生

【メール質問内容】

■財務諸表論 セールアンドリースバックについて質問があります。

長期前受収益は減価償却費から控除して表示しますが、

「これは資産を取得したときからの簿価で減価償却していることと同じことになる」という解説がありました。

そこで、実際に例題を使って計算し、確かにもともとの資産の取得原価で減価償却を続けた場合の減価償却費と、リースバック後の減価償却費との差異は、長期前受収益償却と同額になることを確かめました。

ここでなぜ、このような一致が起こるのでしょうか？

(数字という表面上では一致することを確認しましたが、いまひとつなぜ一致するのかの理屈がわかっていません。)

ご多忙とは存じますが、ご教授のほど、宜しくお願い致します。

【講師からのメール回答】

セールアンドリースバック取引の性質を考えるとよいでしょう。

セールアンドリースバックは、結局は、自己所有の資産を担保にお金を借りるのと同じです。

自己所有の資産を売却してしまうと経営上困る場合（例えば本社ビルとか）いったんリース会社にその資産を売却した後、そのままその資産をリース会社からリースという取引になります。

このため、自己所有資産を担保とした資金の借り入れと同じになるのです。

このような取引の性質から、仕訳を違う形で理解してみるとよいかと思えます。例えば、取得価額 240,000、減価償却累計額 54,000 の建物をリース会社に 207,000 で売却し、そのまま利率 7%、リース料 43,428 の条件でリースしたとします。

取引を形式的に考えると、以下のようになります。

【建物売却】

減価償却累計額 54,000 / 建物 240,000

現金預金 207,000 / 建物売却益 21,000

【リース取引】

リース資産 207,000 / リース債務 207,000

※43,428 を 7% で割り引いた割引現在価値

リース債務 28,938 / 現金預金 43,428

支払利息 14,490 /

減価償却費 31,050 / 減価償却累計額 31,050

※ $207,000 \times 0.9 \div 6$ 年

上記の仕訳は取引の実態を表していません。この取引は建物を担保とする資金の借入れだからです。よって、建物を担保とする資金の買入れという形で仕訳を考えてみます。

【借入に関する処理】

現金預金 207,000 / 借入金 207,000

借入金 28,938 / 現金預金 43,428

支払利息 14,490 /

【自己所有資産の減価償却】

減価償却費 27,000 / 減価償却累計額 27,000

※ $240,000 \times 0.9 \div 8$ 年

上記のように、借入れと借金返済の仕訳とともに自己所有資産については、他の資産同様に減価償却をしていきます。

このような処理をリース取引の会計処理の枠の中で行いたいため、まず、建物の売却処理については実質的には売却していないので、建物売却益を計上しないで長期前受収益を使います。

【建物売却】

減価償却累計額 54,000 / 建物 240,000

現金預金 207,000 / 長期前受収益 21,000★

次に借入れに関して、一旦売却した建物をリースしたと処理します。

借入金についてはリース債務として計上し売却した建物はリースにより、そのまま使用していますので売却価額でリース資産として計上します。

【リースに関する処理】

※リース資産 207,000 / リース債務 207,000

※借入金 28,938 / 現金預金 43,428

支払利息 14,490 /

なお、このときこの 207,000 という金額は、利率 7% で毎年の元利支払合計額を 43,428、6 年で借り入れるという条件で借入した場合で計算されているという点にご注意ください。つまり、建物を担保として上記の条件で借入をしているというわけです。

そして、リース資産における減価償却の処理です。

【リース資産の減価償却】

減価償却費 30,500 / 減価償却累計額 30,500

※ $(207,000 - 240,000 \times 0.1) \div 6$ 年

上記の計算をみると、リース資産計上額 207,000 は借入金額です。

実質は、取得価額 240,000 の建物は担保にいらただけで、相変わらずその建物を所有し、利用しているわけですから、減価償却費は $40,000 \times 0.9 \div 8$ 年 = 27,000 もしくは $(240,000 - \text{累計額 } 54,000 - \text{残存 } 24,000) \div 6$ 年 = 27,000 であるべきです。

この両者の差額の原因となっているのが、長期前受収益 21,000 となります。つまり、建物簿価 186,000 (240,000 - 累計額 54,000) の物を担保にいれ 207,000 借りた、その差額 21,000 ということです。

よって、あるべき減価償却費 27,000 に修正するために、長期前受収益を取崩し、過大になっている減価償却費を修正するという処理が必要になるわけで

す。

長期前受収益 3,500 / 減価償却費 3,500

【受講者の声】

専門学校に通っているものの、地方なので講師の先生がいないので、気軽に質問ができませんでした。また、試験勉強の不安もあり、誰かに相談したいと思っても、周りには国家試験のプレッシャーを知る人はおらず、相談もできませんでした。このメール相談は、現役の先生に相談できますし、なによりメールなので、気軽に相談に乗ってもらえる点がいいですね。

具体的な問題の解き方から、人生相談までいろいろと乗っていただきました。

公認会計士講座の受講生

【メール質問内容】

■監査論の監査リスクについて質問があります。

「ARは社会の要請で自動的に決定される」という解説がありましたが、具体的にどのようなプロセスをもってして「社会的な要請」としての値が決定されるのでしょうか。

ご多忙とは存じますが、ご教授のほど、宜しくお願い致します。

【講師からのメール回答】

監査リスクの定義とリスク・モデルの第2式をもう一度ご確認ください。

監査リスクがどのように決定されるかが、この式の意味ですが

「 $AR = 1 - \text{信頼性の保証水準}$ 」が監査リスクの意味となります。

このため、その信頼性の保証水準をどこまで高めるのかが問題となりますがこの決定において、社会的な要請が反映されるのです。

つまり、社会の期待と監査人が追っている責任との期待ギャップを解消するように、社会的な要請が反映されます。

近年おこった「オリンパス事件」や「大王製紙事件」とその後に規定された

「不正リスク対応基準」や「不正リスクに対応した委員会報告書の改正」

といったことを考えていただくと理解しやすいかと思います。



主催者：(株) M-Cass 代表 平井 孝道（日本公認会計士協会準会員南九州会所属）

<略 歴>

専修大学経済学部卒業、専門学校や大学にて、簿記検定講座、公認会計士試験講座、税理士試験講座で講義を担当。公認会計士試験合格後、一部上場企業の内部統制整備・運用や社会福祉法人の経理システムの導入、学校法人の会計監査、熊本県の包括外部監査に従事。

講師 高木 昭宏（日本ファイナンシャル・プランナーズ協会会員）

<略 歴>

熊本大学大学院卒業

専門学校や大学・企業にて、簿記検定講座、税理士試験講座、ファイナンシャルプランニング講座で

講義を15年以上担当。税理士試験会計科目、日商簿記1級、建設業経理士1級などに合格。趣味：株式投資（10年以上継続中。）特技：バレーボール（小学校3年生から）

簿記検定・税理士・公認会計士
の合格圏内を目指すあなたへ

✓わからないをわかるへ変える
メール相談型個別指導

500円/1質問チケット

受験応援価格

メール質問の流れ

チケットを購入

質問を1つメールで送信
送信先：situmon@m-cass.co.jp

専門の講師からメールで回答

お申し込みは、M-Cass ホームページより行えます。

<https://m-cass.co.jp>

著作権はビジネスゲーム M-Cass にあります。